5 省資源・廃棄物削減

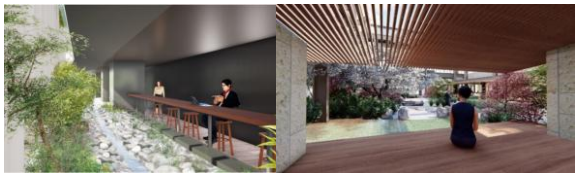
テナントとともに取り組む資源循環・環境配慮施策

当社グループの保有物件では、「廃棄物の再利用率（一般廃棄物含む）の前年度比改善」をKPIに掲げ、テナントとともにビル全体での省資源・廃棄物削減に取り組んでいます。専有部・共有部におけるリサイクルボックスや各種回収ボックスの設置、個別回収方式から集合回収方式への変更などを通じて、資源の分別・再利用を促進しています。あわせて、ルールや備品の整備、啓蒙活動により、オフィスで働く一人ひとりの行動変容を促しています。

具体例❶：節水につながる設備・運用

多くのビルにおいて、節水性能の高い衛生器具の使用や、雨水を濾過して雑用水として再利用するなど、水使用量の削減に取り組んでいます。また、一部のビルでは、トイレに設置したデジタルサイネージの広告収益の一部を国際NGO「ウォーターエイド」へ寄付しています。加えて、「TORANOGATE」では、雨水を植栽潅水に再利用するほか、地下雨水ピットから屋上庭園まで水を循環させる「超高層循環水景システム」を導入予定で、快適性と空間の付加価値向上を目指しています。

デジタルサイネージを
通じた寄付の取り組み



29階屋上庭園やオフィス基準階バルコニーに
自然流下で水を流す「超高層循環水景システム」イメージパース
（TORANOGATE）

具体例❷：廃食用油を活用した持続可能な航空燃料（SAF）への参画

2025年3月より、廃食用油を原料とした持続可能な航空燃料（SAF）製造事業への協力を開始しました。保有・運営する「京橋エドグラン」「丸の内センタービルディング」「新丸の内センタービルディング」から排出される廃食用油を提供し、年間約8,000リットルの回収を見込んでいます。あわせて、廃食用油を原料とした航空燃料SAFの普及を目指す「Fry to Fly Project」に参画しています。

廃食用油の回収・再資源化

5 省資源・廃棄物削減

具体例❸：家具・家電のサブスクサービスを導入

オープンイノベーションオフィス「SENQ」、分譲マンション「BAUS」では、家具・家電のサブスクリプションサービスを導入しています。
入居者向けにも優待割引などによって活用を促進し、家具の廃棄数削減に貢献します。

家具・家電の循環利用

具体例❹：ペットボトルキャップの回収

「日土地ビル」「REVZO虎ノ門」「日土地銀座ビル」「大崎ウィズタワー」「日土地西新宿ビル」などでは、回収したペットボトルキャップをワクチンに変える取り組みを展開しています。ペットボトルキャップのリサイクル過程で発生した利益の一部を「NPO法人世界の子どもにワクチンを（JCV）」に寄付し、JCVとユニセフがワクチンを発注。ワクチンは発展途上国に届けられ、多くの子どもの命や健康を守ることにつながっています。

ペットボトルキャップ回収

5 省資源・廃棄物削減

事業活動における省資源・廃棄物削減の推進

改修工事等で発生する産業廃棄物を現場で分別し、リサイクル率の可視化と社内・パートナー会社への共有を通じて、廃棄物削減を推進しています。

具体例❶：産業廃棄物の分別と再利用の推進

中央日土地ファシリティーズでは、改修工事等で発生する金属くずや廃プラスチック等の廃棄物を、現場で分別化する取り組みを徹底しています。また、分別した廃棄物の搬出先において可視化されたリサイクル率を社内やパートナー会社へ共有し、サプライチェーン全体で廃棄物分別に向けた意識向上を促進しています。

現場での分別徹底

具体例❷：廃棄物削減に向けたワークショップ等の実施

オープンイノベーションオフィス「SENQ」では、コーヒー豆かすのアップサイクルや忘れもののビニール傘のリサイクルなどをテーマに、SDGs意識の向上に向けたワークショップを定期的に開催しています。また、緩衝材の回収・リサイクルやフードロス削減に向けた取り組みなど、入居者とともに資源循環につながる施策を推進しています。

ワークショップの様子

緩衝材の回収箱

具体例❸：産業廃棄物の分別と再利用の推進

当社グループでは環境への負荷が少ない商品やサービスを優先して購入する「グリーン購入」を促進するほか、使用済みクリアファイルを各社で回収および資源循環プラットフォームへ送付するリサイクル活動を推進しています。

左：本体にクラフトボードを使用し分別廃棄もできる簡易クリップボード
右：竹由来の素材を使用したエコカップ